

写 真

Ph.

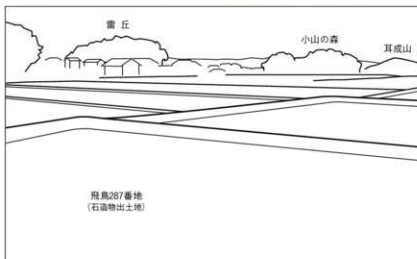
- 1 昭和11年調査の記念写真
- 2・3 航空写真
- 4～8 調査区全景
- 9～24 発掘遺構
- 25～48 土 器
- 49～57 瓦
- 58～61 木製品
- 62～72 鉄製品
- 73 その他の鉄製品・銅製品
- 74 櫛羽口
- 75 鋳型・埴塼・銅素材・銅滴・銅滓
- 76 鉄素材・鉄滓
- 77 壁 土
- 78・79 砥石・その他の石製品
- 80 室生火山岩製板石
- 81～84 樹種顕微鏡写真
- 85 SD335埋土の堆積構造



昭和11年調査の記念写真
(辻本佳央氏宅伝存)



昭和11年撮影時と同一地点から
北西を撮影 (2022年5月)





石神遺跡周辺から天香久山を望む 南から (2023年5月撮影)



1. 石神遺跡周辺から耳成山を望む 南東から (2023年5月撮影)
2. 石神遺跡周辺から東方の谷地を望む 西から (2023年5月撮影)



1



2

1. 手前が石組溝SD330・331、奥が石組溝SD334・335 南西から
2. 調査区から水落遺跡を望む（水落遺跡第2次調査と同時調査） 北東から



1. 石組溝SD335から屈曲してSD435となる 北西から
2. 調査区から天香久山を望む 南から



1



2

1. 掘立柱塼SA600・560とその基壇が調査区東西にわたる 南西から
2. 調査区西北部には石敷SX700が広がる 北西から



1. 手前が石組溝SD332とSD730 東から
2. 調査区北辺中央部には井戸SE800がある 西から



1

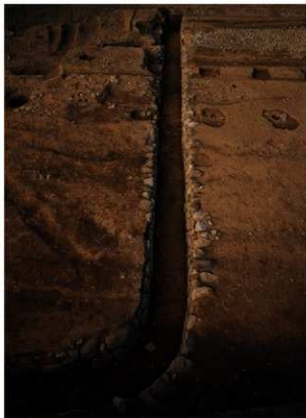


2

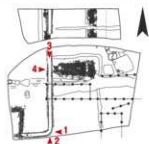
1. 調査区から石神遺跡東方を望む 南西から
2. 調査区西北部が石造物出土地とされる 北東から



1・2



3・4



- | | |
|------------------------|-----|
| 1. 石組溝SD334とSD335の屈折部分 | 東から |
| 2. 石組溝SD335 | 南から |
| 3. 石組溝SD335 | 北から |
| 4. 石敷SX327 | 西から |



1・2
3



4・5

- | | |
|------------------------------|-----|
| 1. 石組溝SD332 (第3次) | 南から |
| 2. 石組溝SD332 (第3次) | 北から |
| 3. 石組溝SD331とSD332の屈折部分 (第3次) | 東から |
| 4. 石組溝SD330とSD331 (第1次) | 東から |
| 5. 石組溝SD330 (第1次) | 南から |



1・2



3



1. 石組溝SD435 (第2次) 西から
2. 石組溝SD335 (第2次) 北から
3. 石組溝SD334・335とSD330・331 (第1次) 東から
4. 石組溝SD335と石敷SX370の上下関係 (第1次北区) 北から



4



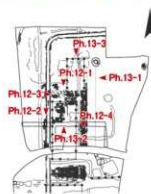
1



2・3



4



1. 石列SX432・433と石敷SX401 (第2次) 北から
2. 石組溝SD335を覆う石敷SX370 (第2次) 北から
3. 石敷SX430と石列SX433 (第2次) 西から
4. SB400東面の石敷SX359・石列SX358 (第1次北区) 北から



1



2

1. SB450 東から
2. SB400（手前）とSB450（奥）
南から



3. SB450 北から

3



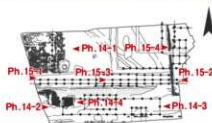
1



2・3



4



1. 石敷SX700 東から
2. 流路NR310に壊される調査区南部の遺構 西から
3. 流路NR310に壊される掘立柱建物SB530 東から
4. 方形石組遺構SX540 東から



1. 掘立柱塼SA600・560と周囲の石敷 西から
2. 石組溝SD332と掘立柱塼SA600・560 東から
3. 掘立柱塼SA600・560、掘立柱建物SB580、素掘溝SD347 西から
4. 掘立柱建物SB620 西から



1



2



3

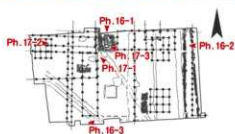
- | | |
|--------------------------------------|-----|
| 1. 井戸SE800 | 北から |
| 2. 素掘溝SD621、総柱建物SB736、
掘立柱建物SB750 | 東から |
| 3. 石敷SX700 | 東から |



1



2・3



1. 掘立柱建物SB810・811、石敷SX771 南東から
2. 掘立柱建物SB810・811、総柱建物SB830 西から
3. 掘立柱建物SB810・811 東から



1・2
3

4・5

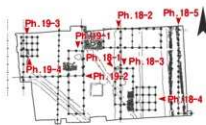
1. 掘立柱建物SB745、総柱建物SB735、石敷SX743 北西から
2. 素掘溝SD640 北から
3. 石敷SX743に覆われる掘立柱建物SB745 北から
4. 総柱建物SB735、石敷SX743 東から
5. 石組溝SD332・732、掘立柱塀SA732 北から



1



2・3



4



1. 掘立柱建物SB770・掘立柱塼SA780・781、
石敷SX771 北から
2. 掘立柱塼SA780・781 東から
3. 総柱建物SB830・掘立柱建物SB820、
石組雨落溝SD790 北から
4. 総柱建物SB830 南から



1・2



3

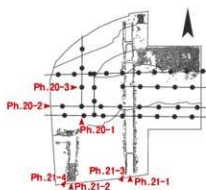
1. 掘立柱塼SA600・4650
(1-1期区画東南隅) 南から
2. 掘立柱塼SA4645・560 西から
3. 掘立柱塼SA4650の大柱穴
(南から2基目) 西から



1・2



3・4



1. 底石を敷かない石組溝SD335 南から
2. 底石を敷く石組溝SD330 南から
3. 自然石を数段積み重ねた石組溝SD335 南西から
4. 大きな自然石を用いた石組溝SD330 南西から



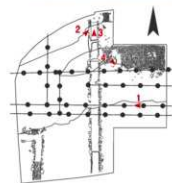
1



2・3



4



1. 流路NR310とSA560・4645・4646との重複関係 東から
2. 石組溝SD335と整地土A、石敷SX327との上下関係 南西から
3. 石組溝SD335の溝埋土
上2層は埋立土、それより下位は細砂の水成堆積物 南から
4. 掘立柱塼SA311柱穴断面とそれを覆う平安時代の遺物包含層 北西から



1. 調査区全景
(第1990-1次)
東から



2. 竪穴建物S1315
(第1次)
北西から

2



3. 石造物抜取痕跡
SX350 (第1次)
北から

3



1. 掘立柱建物SB530 (柱穴イー十, 第3次)
2. 石組溝SD335 (第2次, 日本測地系X-168, 834)
3. 掘立柱塼SA600 (第3次調査区東から7基目)
4. 総柱建物SB620 (柱穴ロー二, 第3次)
5. 掘立柱塼SA560 (第3次調査区東から7基目)

北から
北から
西から
南から
西から

6. 掘立柱建物SB750と素掘溝SD630 (柱穴ニ一四, 第4次)
7. 井戸SE800井戸枠 (第4次)
8. 井戸SE800含砂礫茶褐色有機質土の土器出土状況 (第4次)

南から
南から
北から

1・2

3・4

5・6

7・8



009



027



004



037



005



047



006



042



016



044



017



039



029



049





072



074



073



075



069









134



138



137



139



135



140



136



141





191



192



210



212



205



198



196



216





251



259



256



261



257



267



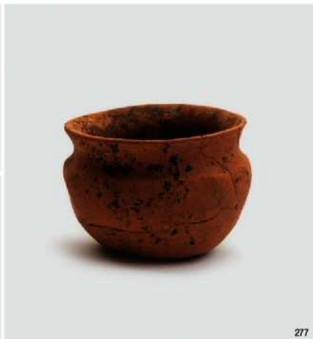
264



270



272









347



345



354



355



361



358











620



627



629



633



637



634



638



640



647



643



657



651



659



658







813



821



814



822



836



837



841





1. 飛鳥寺 Ia。



2. 飛鳥寺 Ib。



3. 飛鳥寺 VI。



4. 飛鳥寺 A。



5. 石神 F。



6. 石神 F (支持ナデツケ)。



7. 石神 F (丸瓦先端凹面カット)。



8. 石神 F (瓦当裏面)。



1. 飛鳥寺田。



2. 石神A。



3. 石神A（第10次調査出土）。



4. 石神B。



1. 石神D。



2. 石神E。



3. 飛鳥寺瓦 (瓦当断面)。



4. 石神A (瓦当断面)。



5. 石神A (丸瓦先端方納加工)。



6. 石神B (丸瓦先端)。



7. 石神D (丸瓦先端凹面カット)。



8. 石神D (丸瓦先端凸面カットか)。



9. 石神D (丸瓦先端)。



10. 石神E (丸瓦先端方納加工)。



11. 石神E (丸瓦先端)。



12. 石神D (瓦当裏面)。



1. 船橋廣寺式。



2. 船橋廣寺式 (1) の類例 (古宮遺跡第2次調査出土)。



3. 飛鳥寺XIV。



4. 飛鳥寺XIV。

5. 飛鳥寺XVI。



6. 川原寺601 A。



7. 大宮大寺6231。

8. 複弁蓮華文軒丸瓦 (川原寺611か)。



1. 飛鳥寺 I B。



2. 川原寺651E。



3. 飛鳥寺 II (右：凸面)



4. 型式不明の五重弧文軒平瓦 (右：凸面)。



5. 軒平瓦 (中世)。



6. 軒平瓦 (近世)。



7. 飛鳥寺 VI (左上：凹面、右上：凸面)。



8. 垂木先瓦。



9. 垂木先瓦 (8) の類例 (左：飛鳥藤原第146次調査出土。右：飛鳥藤原第151次調査出土)。



1. 無段式丸瓦 1 類。



2. 無段式丸瓦 2 類。



3. 有段式丸瓦 1 類A1。



4. 有段式丸瓦 1 類A2。



5. 有段式丸瓦 1 類B。



6. 有段式丸瓦 1 類B。



7. 有段式丸瓦 2 類。



8. 玉縁部粘土と簡部粘土の接合位置（左端は有段式丸瓦 1 類A2、右 3 点は有段式丸瓦 1 類B）。



1. 平瓦 1 類A1。



2. 平瓦 1 類A2。



3. 平瓦 1 類B。



4. 平瓦 2 類A1。



5. 平瓦 2 類A2。



6. 平瓦 2 類B1。



7. 平瓦 2 類B2。



8. 平瓦 2 類C。



1. 平瓦3類。



2. 平瓦3類。



3. 平瓦4類A1。



4. 平瓦4類A2。



5. 平瓦4類A3。



6. 平瓦4類B。



7. 平瓦5類。



1. 平瓦6類。



2. 平瓦7類。



3. 平瓦7類（2）の類例（歌姫瓦窯出土）。



4. ヘラ描瓦。



5. 瓦製円板









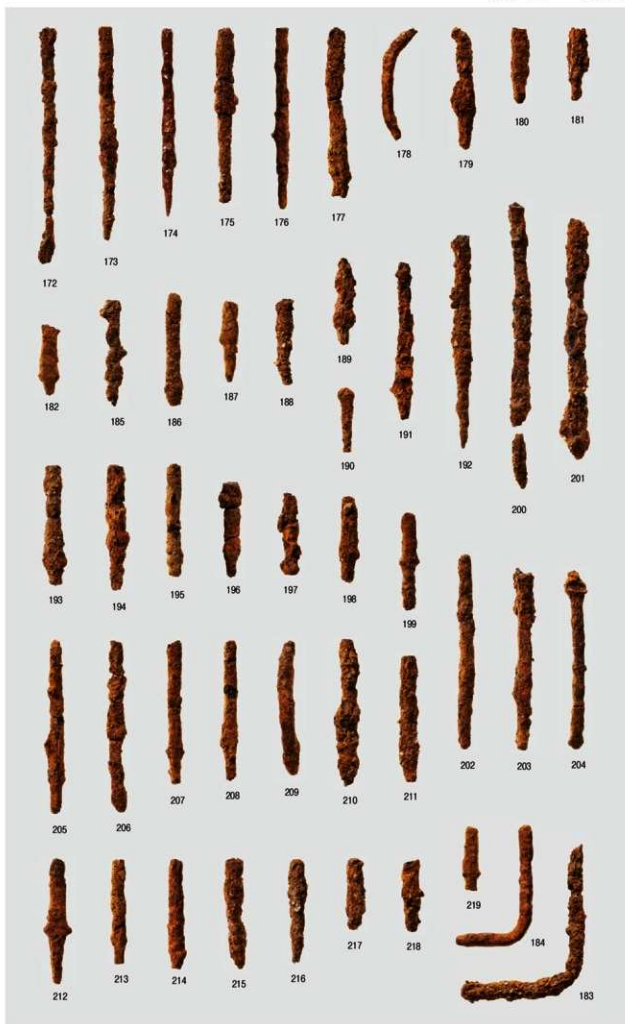


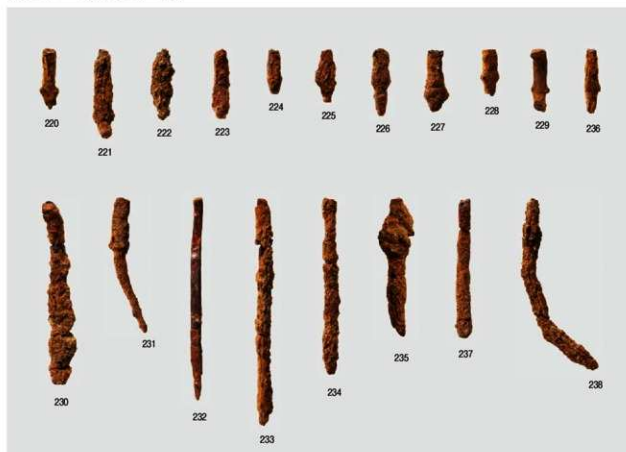










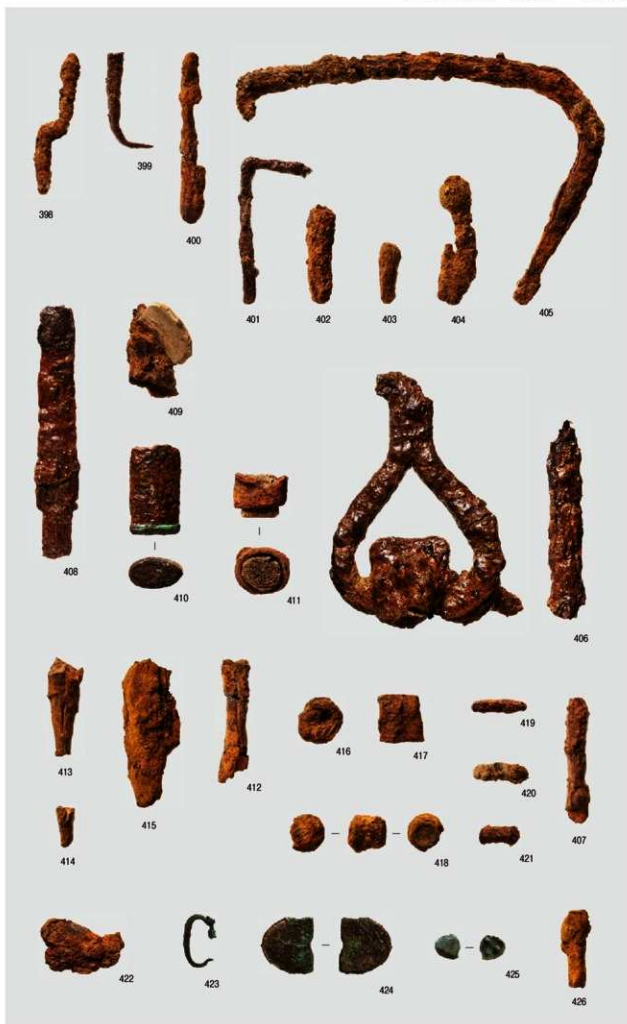


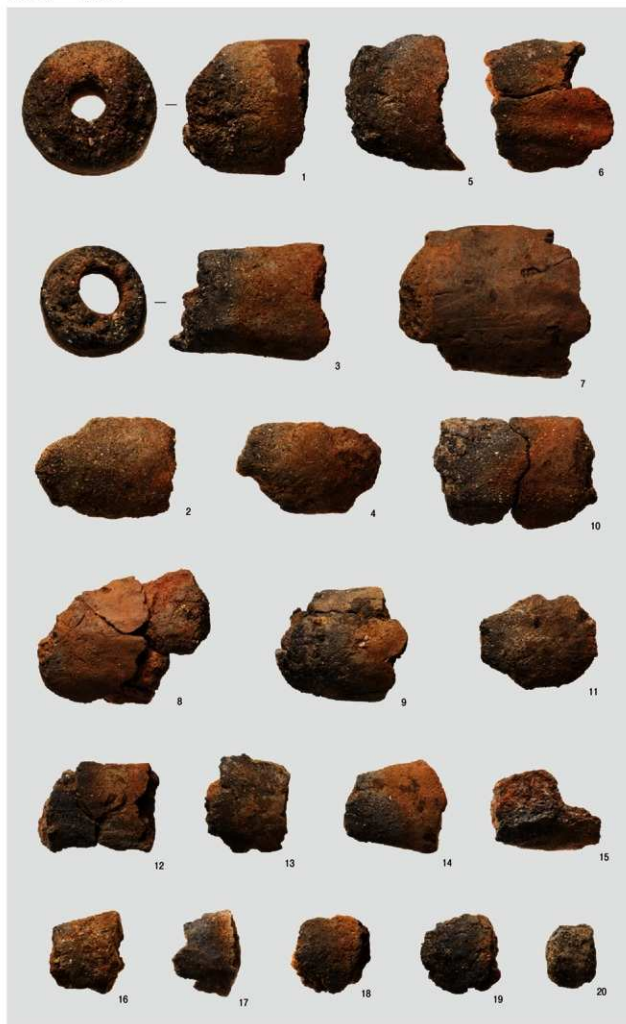




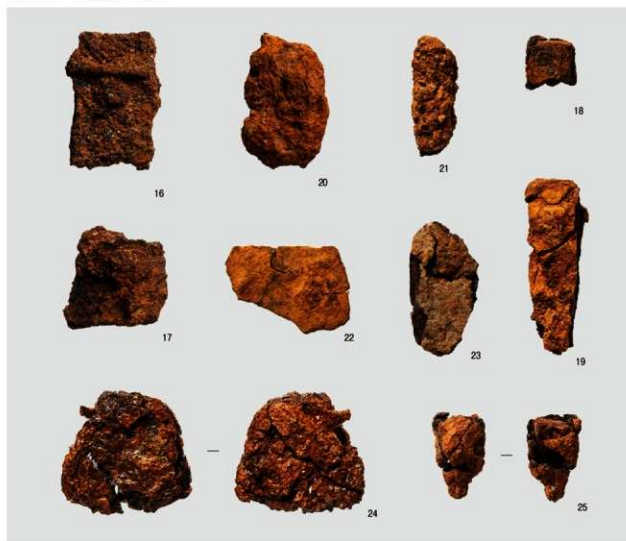


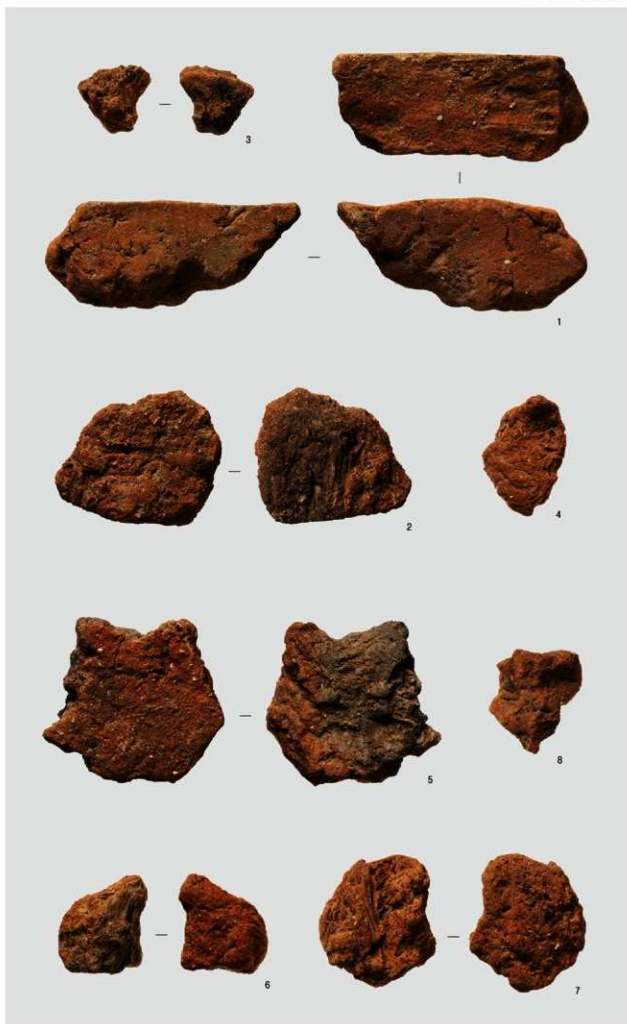




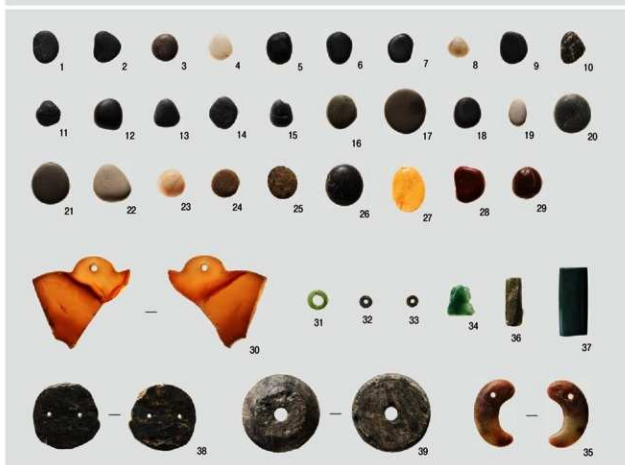
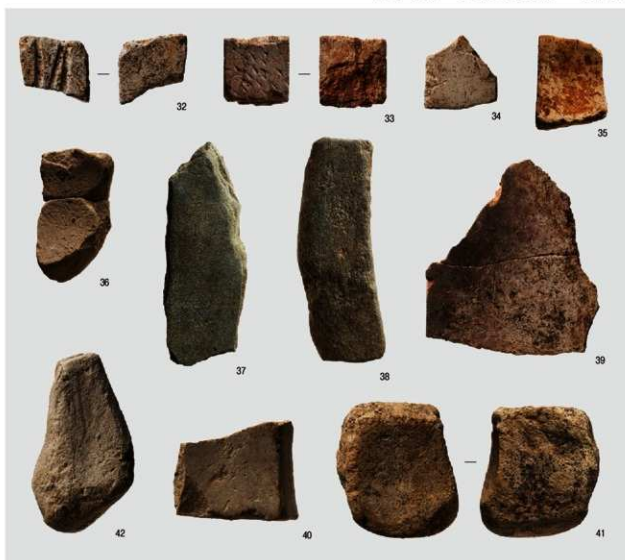














1



2 (1:4)



5 (1:4)



3



4



6 (1:4)



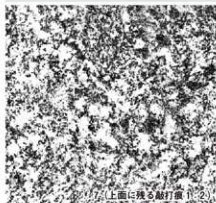
7



8 (下面)



8 (上面)



上面に残る敲打面 (1:2)



9



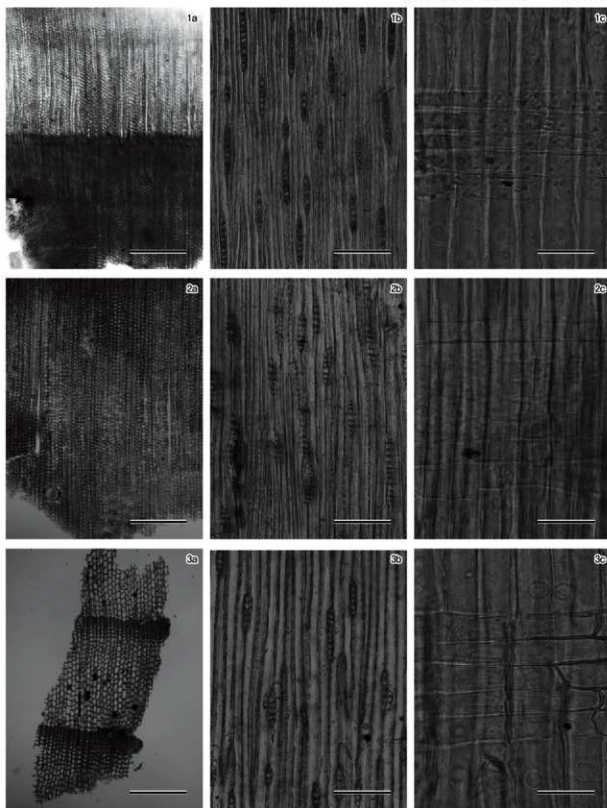
10



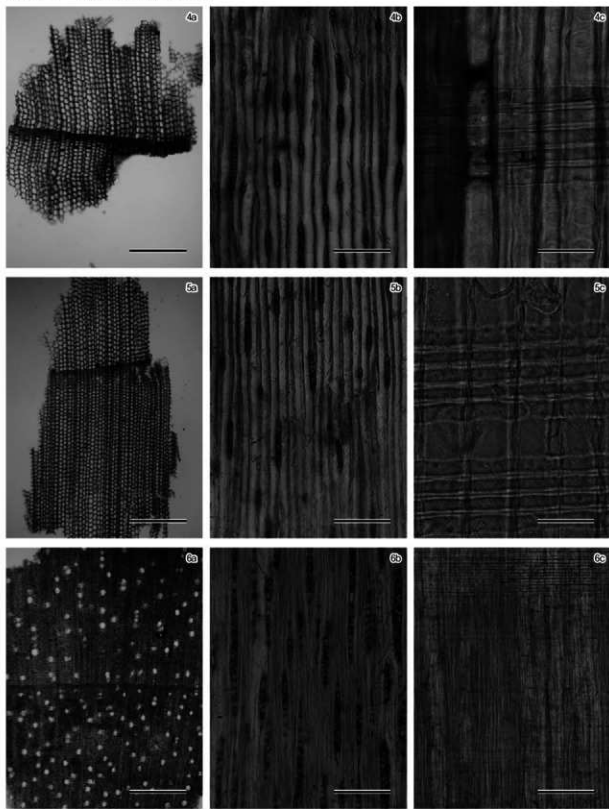
9 (上面 拡大)



10 (上面 拡大)

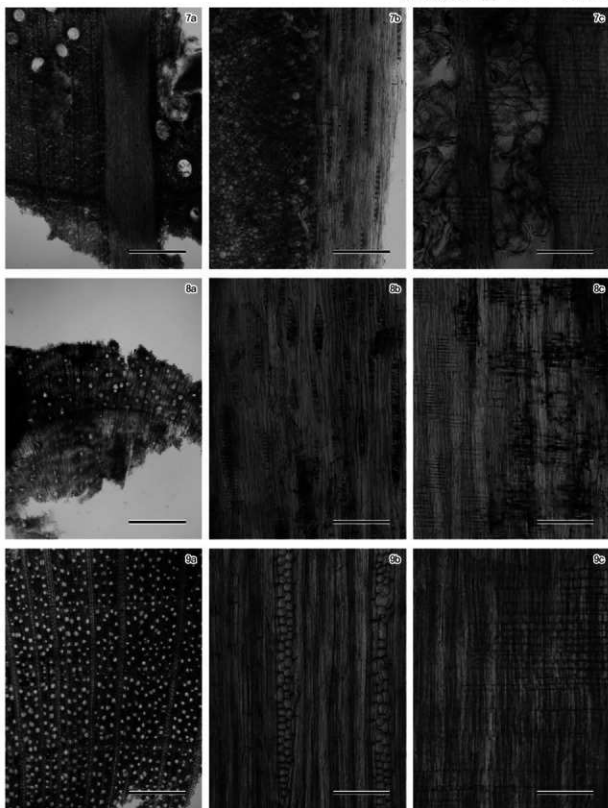


1a-1c. モミ属 (Fig. 99-47). 2a-2c. マツ属椎椎管束属 (Fig. 94-19). 3a-3c. コウヤマキ (Fig. 100-72)
a : 横断面 (スケール=500 μ m). b : 接線断面 (スケール=200 μ m). c : 放射断面 (スケール=50 μ m)

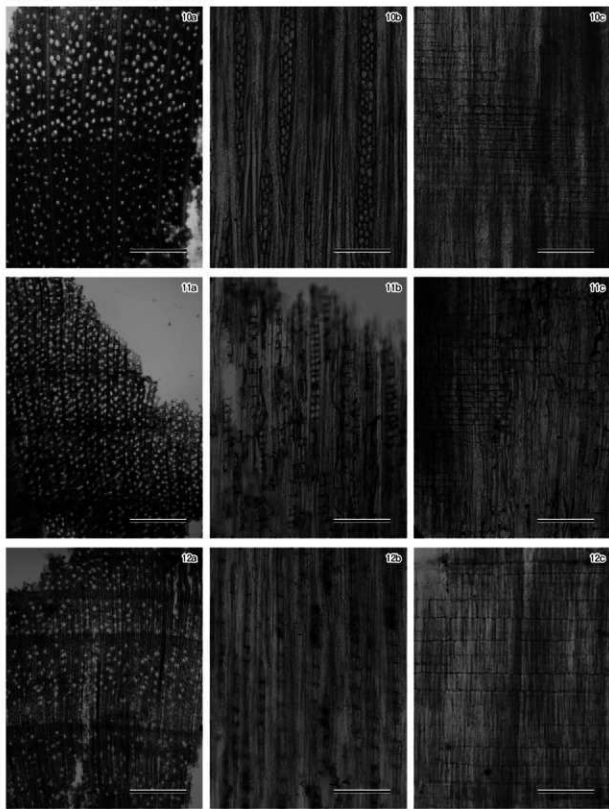


4a-4c. スギ (Fig. 94-20). 5a-5c. ヒノキ (Fig. 100-77). 6a-6c. クスノキ科 (Fig. 93-11)

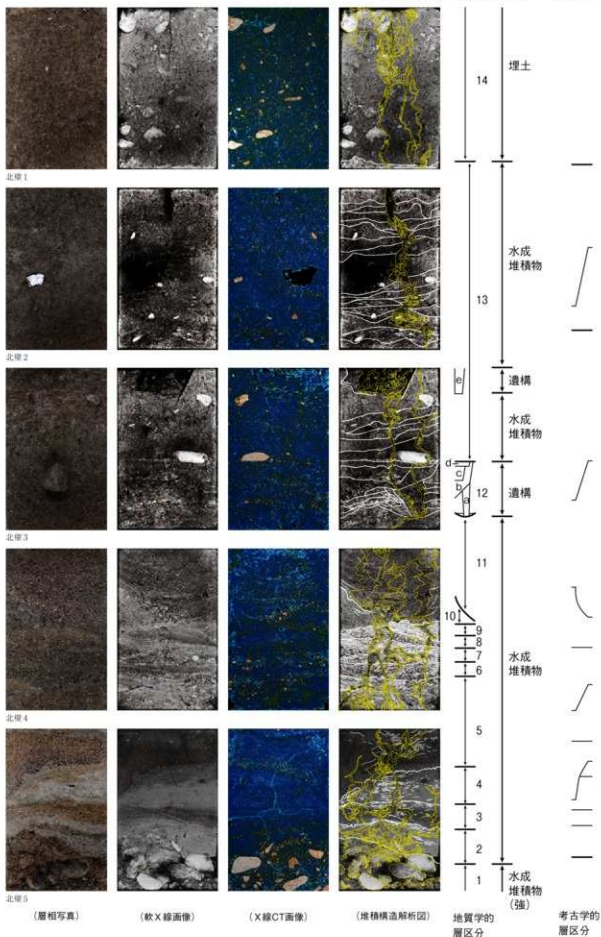
a : 横断面 (スケール=500μm). b : 接線断面 (スケール=200μm). c : 放射断面 (スケール= 4・5 : 50μm・6 : 200μm)



7a-7c. コナラ属アカガシ亜属 (Fig. 97-33)、8a-8c. カエデ属 (Fig. 100-89)、9a-9c. ウツギ属 (Fig. 96-26)
a: 横断面 (スケール=500µm)、b: 接線断面 (スケール=200µm)、c: 放射断面 (スケール=200µm)



10a-10c. ウツギ属 (Fig. 96-26)、11a-11c. サカキ (Fig. 99-53)、12a-12c. ハイノキ属サワフタギ (Fig. 99-49)
a: 横断面 (スケール=500 μ m)、b: 接線断面 (スケール=200 μ m)、c: 放射断面 (スケール=200 μ m)



報告書抄録

ふりがな	いしがみいせきはつちようさほうこく							
書名	石神遺跡発掘調査報告							
副書名	石造物出土地の調査							
巻次	I							
シリーズ名	奈良文化財研究所学報							
シリーズ番号	第106冊							
編著者名	森川 実・福嶋啓人・山藤正敏・松永悦枝・岩永 玲・谷澤亜里・村田泰輔・山本 崇・村上夏希（昭和女子大学）・小林克也（熊本県・ラボ）							
編集機関	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所							
所在地	〒630-8577 奈良県奈良市二条町 2-9-1 TEL 0742-34-3931							
発行年月日	2025年 3月28日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
いしがみいせき 石神遺跡 須弥山像・ 道祖神像出 土地	きょうふく 奈良県 高市郡 明日香村 飛鳥	29402	14-D- 0028・ 0029	34°28'50" (世界測地系)	135°49'00" (世界測地系)	1981.9.3 } 1982.1.30 } 1982.4.21 } 1982.10.23 } 1983.7.18 } 1984.2.20 } 1984.7.9 } 1985.5.7 } 1991.1.28 } 1991.2.15 } 1996.12.2 } 1996.12.3 } 2023.12.6 } 2024.3.15	936㎡ 1,182㎡ 1,423㎡ 1,456㎡ 45㎡ 22㎡ 335㎡	学術調査 農小屋 新築 農道拡張 学術調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
石神遺跡	官衙・ 宮殿	飛鳥時代	掘立柱建物・掘立柱 塀・南北溝・東西溝・ 石組溝・井戸・石敷		須恵器・土師器（7世 紀）・瓦・木製品・鉄 製品・銅製品・石製品		須弥山石出土地において 発掘調査をおこない、飛 鳥時代の遺構多数を検出 した。	

2025年3月14日 印刷

2025年3月28日 発行

石神遺跡発掘調査報告Ⅰ

—石造物出土地の調査—

奈良文化財研究所学報第106冊

著作権所有
発行者

〒630-8577
奈良市二条町2丁目9番1号
独立行政法人国立文化財機構
奈良文化財研究所

印刷者

〒635-0143
奈良県高市郡高取町車木215
岡村印刷工業株式会社

ISBN 978-4-911369-04-3

